

つくばみらい市立板橋小学校区における意見交換会
(これまでの経緯について)

平成 29 年 1 月 19 日

1 これまでの経緯について

つくばみらい市の義務教育施設に関する検討のため、平成21年に「つくばみらい市義務教育施設適正配置審議会」が立ち上げられました。同審議会におけるこれまでの検討経緯については、下記のとおりとなっています。

平成23年
9月

小中学校の学級数や児童数の適正規模に関する検討

- ・本審議会において、「つくばみらい市内の義務教育施設の適正配置について」の答申をいただく。

小中学校の適正規模を、小学校を1学年2学級以上、中学校を1学年3学級以上とする。

平成26年
8月

みらい平地区における2校目の小学校建設に関する検討

- ・本審議会において、「つくばみらい市義務教育施設の適正配置について（第1次答申）」をいただく。

みらい平地区における急激な児童数に対応するため、みらい平地区に2校目となる、(仮称)富士見ヶ丘小学校を設置する。

平成27年
11月

つくばみらい市内の小中学校の再編に関する検討

- ・本審議会において、「つくばみらい市義務教育施設の適正配置について（第2次答申）」をいただく。

児童数が増加する地区と減少する地区が混在し、不均衡な教育環境を解消するために、小学校を6校へ、中学校は既存の4中学校を前提とした再編とする。

平成27年
12月

『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会

平成28年
1・2月

パブリックコメントの実施

平成28年
3月

つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画策定

2 『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画（案）の説明会

義務教育施設適正配置計画に関して、市民の皆さんからのご意見を直に伺う機会となる「『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会」の開催を行いました。

- ・日時：平成27年12月3日、7日、8日、13日、14日、15日、17日、20日
- ・場所：伊奈公民館(3日～8日、20日)・谷和原公民館(13日～17日)
- ・参加者数：482人(延べ人数)

□寄せられた主な意見（抜粋）

谷井田小学校区 参加者数 27 人（平成 27 年 12 月 3 日(木)午後7時～ 場所:伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none">・平成21年から学校適正配置の取組を行なっていることについて、時間がかかりすぎている。・今回の計画案の策定期間が短すぎることや住民説明会を先に行うべきではないかと思う。・統廃合における合意形成をスピーディーに進めるべきだと思う。
小張小学校区 参加者数 62 人（平成 27 年 12 月 4 日(金)午後7時～ 場所:伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none">・小張小学校が持つ歴史性を鑑み、みらい平地区と小張小を含めた学区割によって調整を図るべきと思う。・過大な陽光台小の児童を小張小へ振分けることで、小張小の存続を学校との関係で、陽光台小学校に統廃合するのではなく、他から児童を通学させて小張小や周辺既存校へ割振るべきだと思う。・みらい平地区の児童が小張小に通いたい、まわりが陽光台小に通うので、やむなく通っている方もいるという。小張小が廃校になることについては納得がいかない。
板橋小学校区 参加者数 24 人（平成 27 年 12 月 7 日(月)午後7時～ 場所:伊奈公民館)
(※4 ページ以降に質問・意見を掲載)
豊小学校区 参加者数 50 人（平成 27 年 12 月 8 日(火)午後7時～ 場所:伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none">・まず発生している複式学級に対処すべきで、全体の統廃合に取り組むのは勇み足ではないかと思う。・統廃合によって豊小の校風が失われるのではないかと。地区住民の中でも豊小に愛着を持つ人も多い。そういった部分も考慮して検討いただきたい。・学校というのは大事なことで、学校を作るなら地域を見るのが一番。地域に何度も足を運んでいただき、地域住民の意見を踏まえて作ってもらいたい。・スクールバスを使う、道路の整備など様々な配慮事項があるが、結局は税金という形で徴収されることになるのではないかと。今のままであれば使わなくてよい金を使うことになる。

福岡小学校区 参加者数 76 人 (平成 27 年 12 月 13 日(日)午後3時～ 場所:谷和原公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の統廃合を考える前に、人口減対策を講じておくべきではなかったか。 ・福岡小は高台にあり水害の面での安全性は高い。その面を考慮されずに統廃合の案を検討されているように思える。できれば、福岡小に谷原小・十和小を統合させるべきだと思う。 ・みらい平の児童を既存小学校へ割振ることも考えてほしい。逆に、福岡地区の子どもが(仮称)富士見ヶ丘小に通学することも考えてほしい。 ・学校に誇りをもってきた。地域に小学校だけは残してほしいと願っている。
十和小学校区 参加者数 42 人 (平成 27 年 12 月 13 日(日)午後6時～ 場所:谷和原公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・コストの面など全体メリットを考えれば、新規の小学校を造るより既存の小学校を活用するほうが良い。 ・スクールバス検討にあたっては、できれば 3km 未満でもバスが通るなら乗せていただきたい。
谷原小学校区 参加者数 28 人 (平成 27 年 12 月 14 日(月)午後7時～ 場所:谷和原公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合の目標年度は平成 35 年とあるが時間がかかりすぎではないか。 ・「地域文化の継承」と謳っているが、統廃合するということは、廃校になる学校の地域文化もあると思う。
小絹小学校区 参加者数 11 人 (平成 27 年 12 月 15 日(火)午後7時～ 場所:谷和原公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・新設校2校と既存地区の学校との施設的な平等性も考えてほしい。 ・みらい平地区にばかり税金を投入しているように見える。不公平感を感じる。
陽光台小学校区 参加者数 58 人 (平成 27 年 12 月 17 日(木)午後7時～ 場所:谷和原公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・陽光台小と小張小が統合した場合、過大な学校の状況が常態化し、良くない教育環境が続くと思う。 ・例えば、小張小が廃校となった後、中学校として利用することなども考えてほしい。 ・現在の中学校の選択制が無くなるのであれば、早く学区を決めていただきたい。 ・+αの要素(特徴ある教育など)が既存の小学校にないと、みらい平地区から既存の学校に率先して通学意向を示すことは難しい。
三島小学校区 参加者数 59 人 (平成 27 年 12 月 20 日(日)午前 10 時～ 場所:伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・複式学級を早急に解消し1クラス1学級のレベルにしていきたい。 ・統廃合の推進にあたっては、反対意見を十分に尊重することに留意してほしい。
東小学校区 参加者数 45 人 (平成 27 年 12 月 20 日(日)午後 2 時～ 場所:伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・児童数が少ない状況は理解するが、それでも学校を残してほしいというのが正直なところである。 ・自分の子どもの頃を考えると、ある程度の人数がいてこそ学校だと思う。統合には賛成の意見である。 ・小学校がなくなってしまうたら、この地区はもっと人数が減り、過疎化が益々進むことになるのではないかな。 ・耐震化工事をするなど税金を使って綺麗にしたのであれば、これから先も学校として使っていけるようにしていきたい。

(参考) 『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会

日時：平成 27 年 12 月 7 日（月）19：00～20：00

出席：24 名（子どもを除く）



□主な質問・意見の概要

主な質問・意見		回答
1. 基本計画全般について		
1	統合検討委員会はいつ頃設置するのか。また、統合検討委員会と統合準備委員会はどのくらいの期間を考えているのか。	<p>来年度から、今回示した枠組みの中で説明会を開催し、意見を聞きながら進めていきたいと考えている。複式学級が発生する学校については、早急な対応が必要のため、統廃合を重点的に進めていくが、あくまでもスタートは全校一斉と考えている。</p> <p>統合検討委員会や統合準備委員会の設置については、設置の前提となる合意に関する明確な基準等は定めていない。何度も説明会などを開催して、十分に納得していただいてから検討委員会や統合準備委員会を立ち上げたいと考えている。陽光台小学校の場合でも2年近くかかったため、そのくらいはかかると考えている。</p>
2	最終的に統合しないことはあるのか。 目標年次（平成 35 年度）までにできないと統合しないということか。	<p>来年度以降も説明会を開催し、説明を重ねてご納得いただいて、平成 35 年度までには6校にしたいとは思っている。全員が反対しているのに市が強引に進めていくことは無いが、平成 35 年度までには進めたいと考えている。もし、平成 35 年度を超えたとしても、適正配置の取り組みは継続して進めたいと考えている。</p>
3	「つくばみらい市義務教育施設適正配置審議会」は、どのような方で構成されているのか。ホームページ等で名前や略歴などは公開されているのか。	<p>委員は、市議会の代表、全校のPTA代表、学校関係者、一般応募の学識経験者等から20名で構成されている。ホームページにおいても、適正配置審議会の内容や委員構成等について公表できるようにしたいと考えている。</p>
4	学区の見直しもあるのか。例えば、中学校区を考慮した学区全体の見直しはしないのか。	<p>今回の適正配置の取り組みについては、基本的には現在の学区を想定して配置等を考えているが、実際に統廃合を進める中で学区の見直しも考えることになる。</p> <p>適正配置基本計画においても、学区については「新たに通学区域を設定するにあたっては、既存地区の現状を検証し、実態にあった区域となるように取り組みます。」との記載もある。そういったことから学区の方も見直すということになる。</p>